中学数学講座　中学1年

▶平成27年5月28日（木）

指導 8

文字と式　１・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方（その１）

（０／３）■　積の表し方①　■

文字と文字の乗法

◀●■ 指導ノート ■●▶

新しい学習に入ります。
文字を使った積の表し方の学習です。

$\chi \times y = \chi y$
$d \times (b - a) = d(b - a)$
$b \times a \times (\chi + y) \times (\chi - y) = ab(\chi + y)(\chi - y)$

のように，×をはぶいて積を表す問題です。

「こんなのやさしいから，だれにもできる」
と，思っておられるセンセなど皆無です。
文字式をきちんと教えられるセンセは一流です。

$\chi \div (-9) \times (a + c) + y \div (b - d) \div hk$

こんな問題までいきます。
どのように教えますか。
もう，教室は阿鼻叫喚の地獄となります。
生徒は”あぽら～ん”とし，センセは”じたばた”し，
教室の窓の外では，すずめがあきれて”ちいぱっぱ”と言ってます。

ま，それはずっと後のことでして…
No.８では，×をはぶくことに全神経を集中させます。

文字はアルファベット順に書くこと

（　）はそのままの形で使う

この２つを徹底します。
ことに（　）をこわしたり，（　）の中をいじる生徒がでます。
　ｃ×（ｂ＋ａ）　　→(正解はこちら)　ｃ×（ｂ＋ａ）
＝（ａ＋ｂ）ｃ　　＝ｃ（ｂ＋ａ）

こんなことも平気でやります。
　ｃ×（ｂ－ａ）
＝（ａ－ｂ）ｃ

（　）は”かんづめ”にさせます。
（ｂ＋ａ）　びんづめ
（ｂ＋ａ）　かんづめ
つまり，中味は見るな，ということです。（　）はかんづめのまま使わせます。

この（　）の処理さえできれば，№８はクリアできます。

▲To Top Page